

○緊急事態宣言の対象地域との不要不急の往来とは？

Q&A

Q1 不要不急の往来とは何ですか。

- 何が不要不急に当たるかは、それぞれ往来の目的、必要性などによって異なります。緊急事態宣言対象地域における感染状況等を踏まえ、今往来する必要があるか、他に代替する方法がないかなどについて検討することも含め、その目的などを改めて見つめ直して判断をお願いします。

○黙食とは？

Q2 「黙食」とは何ですか。

- 道では、感染リスクが高いとされる飲食の場面において、基本的な感染防止行動の定着を図るため、簡潔なキーワードの下で、一丸となって対策に取り組む観点から、事業者間での取組例も参考に、「黙食(もくしょく)」の実践をお願いしています。
- 黙食は、飲食店に入ってからずっと黙っているということではなく、静かに食事を味わい、会話はマスクを着用して楽しく行っていただくといった趣旨であり、具体的には「会食は4人以内など少人数、短時間、深酒せず、大声を出さず、会話の時はマスクを着用」という行動をお願いするものです。

Q3 短時間としている理由は何ですか。

- 飲酒を伴う宴会などでは、一般的に参加者の増加や開催時間が長くなることで、人と人との接触機会が増えるなど、総じて、感染リスクが高まります。
- 感染リスクは、接触機会等が短時間であるほど低くなります。年度末・年度始めで人の移動や会食機会の増加といった感染リスクが高まる時期への備えとともに、医療提供体制への負荷を抑え、安心してワクチン接種を受けられる環境をつくっていくために、これまでも経験等を踏まえ、感染を防ぐ行動の徹底をお願いしており、「短時間」の利用呼びかけを行っています。
- また、飲酒をすると、気分が高揚すると同時に注意力も低下し、大声になりやすく、飛沫感染のリスクも高まるとともに、深夜のはしご酒でも、感染リスクが高まるとされているため、特に注意してください。

Q4 人数を4人までと例示している理由はなんですか。

- 集まる人数が多いほど、人と人との接触機会が増加し、その距離も取りにくくなります。また、そこに飲食の機会が加わると、飛沫による感染リスクが更に高まるため、飲食の機会では、例えば5人以上を大人数の目安とし、原則として4人以下の場を設定していただくことをお願いしています。
- ただし、子どもや高齢者・障がいのある方の介助者などを、4人までの中に一律に含めることは適当でないため、マスク着用や手指消毒、距離を保つなどの基本的な感染対策を徹底した上で、個々のグループの実情に応じて、感染リスクの低減に適切な参加人数を設定してください。
- また、5人以上であっても、会場(店舗側)の協力の下、3密とならない、ソーシャルディスタンスに十分なスペースがあり、参加者が4人以下の単位で区切られ、全員が時間内は席を移動しないこと、参加者の退出時間をずらすなど、実質的に4人までの会食と同じように、感染リスクが回避できると判断される場合には、この限りではありません。

○北海道スタイルを実践している店舗とは？

Q5 利用施設が北海道スタイルを実践しているかどうかは、どのように見分けますか。

- 道では、感染拡大防止と社会経済活動の両立を目指し、道民の皆様のほか、事業者の皆様に「北海道スタイルの実践の徹底」をお願いしています。
- 事業者の皆様が取り組む「北海道スタイル」とは、①マスクの着用・手洗い ②従業員の健康管理 ③こまめな換気 ④店内設備等の消毒・洗浄 ⑤施設内での人との距離の確保 ⑥お客様に対する協力依頼 ⑦感染対策の公表 ⑧コロナ通知システム・COCOAの導入など、事業者自らが取り組む感染拡大防止対策になります。
- この取組を進めている事業者(店舗)は、北海道スタイルを実践する「宣言書」や「ステッカー」を見やすい場所に掲示しているため、お店選びの際に確認してください。
- また、道では安心してお食事をお楽しみいただくために、北海道スタイルを実践しながら営業している店舗を紹介する新型コロナウイルス対策実施店舗マップ(URL:<https://new-hokkaido-style-map.jp/>)や北海道スタイル取組店舗が検索できるサイト※(URL:<https://pr.gnavi.co.jp/mb/newhokkaidostyle/>)を道HPに掲載していますので、お店選びの際に参考としてください。
※北海道スタイル取組店舗が検索できるサイトは外部サイトになります。
- 北海道スタイルを実践する店舗では、接客中に、店舗としての取組への理解や、北海道コロナ通知システムの利用を依頼するなど、感染拡大防止に真摯に取り組んでいますので、利用者の皆様におかれては、店舗の取組へのご協力をお願いします。

Q6 新北海道スタイルを実践している店舗を選べば、感染は避けられますか。

- ウイルスは、どこにでも存在し、誰でも感染する可能性があることから、感染リスクを完全に無くすことは困難ですが、例えば、外出先では、事業者側の取組とともに、利用者側も感染防止対策を確実に実践することで、リスクを低減させることができます。道民の皆様におかれては、外出の際は、「新北海道スタイル」の徹底をお願いします。
- 道民の皆様実践をお願いしている「新北海道スタイル」とは、①咳エチケット ②手洗い
③距離の確保 ④3密を避ける ⑤小声で話す ⑥換気 ⑦コロナ通知システム・COCOAの活用 ⑧オンラインの活用 ⑨テイクアウトやデリバリーの活用 ⑩誹謗中傷しない など、国が示した「新しい生活様式」になります。
(⑧～⑩は、外出先に限定されたものではありません)

○重症化リスクの高い方々とは？

Q7 重症化リスクの高い方々とはどのような方ですか。

- 厚生労働省によると、新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、重症化する人や死亡する人の割合は、高齢者は高く、若者は低い傾向にあります。(6月以降に診断された人の中では、重症化する人の割合は、50歳代以下で0.3%、60歳代以上で8.5% 死亡する人の割合は、50歳代以下で0.06%、60歳代以上で5.7%)
- また、重症化のリスクとなる基礎疾患には、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、心血管疾患、肥満、喫煙があります。さらには、妊娠中の方なども、重症化しやすいか明らかではないものの、注意が必要とされています。
出典:厚生労働省「新型コロナウイルス感染症の“いま”についての11の知識(2021年2月時点)」
- 重症化リスクの高いとされる高齢者や基礎疾患のある方々、そのご家族、こうした方々と接する方は、マスクの着用や手洗いの励行、手指の消毒など、感染リスクを回避する行動の更なる徹底をお願いします。